

第5学年 外国語科学習指導案

令和4年9月27日(火) 第5校時

授業者 西巻 愛海

ALT Rader Michael

1 単元名 「She can sing well.」(Blue Sky5 Unit4)

2 単元目標

- ・できることやできないことを聞き取ったり、話したりすることができる。【知識・技能】
- ・できることやできないことについて、目的に応じて必要な情報を聞き取ったり、相手に伝わるように話したり、やり取りしたりする。【思考・判断・表現】
- ・既習の英語表現を用いて、相手意識をもち、自分の言いたいことを伝える努力をしたり、相手の話を理解しようと努めたりする。【主体的に学習に取り組む態度】

3 児童の実態

男子7名、女子7名、計14名の学級である。どの教科においても学習意欲をもち、落ち着いて学習しているが、人前で発表することや反応を示すことに消極的である。外国語の学習でも、英語を使って伝える自己表現活動に苦手意識をもっている様子が見られる。クリアボイスで相手を意識した伝え方にも課題がある。外国語活動を通して、コミュニケーションのポイントを押さえながら相手意識をもたせ、関わりを多くする活動を仕組むことで主体的なコミュニケーションを促していきたい。

4 指導計画(全7時間)

- 1時 できることを表す表現を聞いたり言ったりする。
- 2時 できないことを表す表現を聞いたり言ったりする。
- 3時 野菜や動物の What am I?クイズを通して、できることやできないこと、特徴などを尋ねる①
- 4時 野菜や動物の What am I?クイズを通して、できることやできないこと、特徴などを尋ねる②
- 5時 有名人やキャラクターを用いたクイズを通して、できることやできないこと、特徴などを尋ねたり、答えたりする。
- 6時 妙高小学校の先生方にできることやできないこと、好きなものなど、インタビューしたことをもとにクイズの準備をする。
- 7時 妙高小学校の先生の Who am I?クイズを通して、できることやできないことなどを尋ねたり、答えたりする。【本時】

<主な言語材料>

- ・動作 (swim dance cook ski skate run sing speak ride play fly jump)
- ・目的語となるスポーツ、楽器、乗り物など
- ・副詞 (well fast)
- ・形容詞 (tall small long short)

<ul style="list-style-type: none"> ・動物 ・ she he ・ Can you ~? Can he ~? Can she ~? / Yes, ○○ can. No, ○○ can' t. ・ But ・ Are you ~? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ can can' t ・ Who am I? ・ Do you like (have) ~?
---	--

5 本時の展開（7/7時間）

（1）ねらい

妙高小学校の先生のことをもっとよく知るために「Who am I?クイズ」を通して、できることとできないこと、好きなものなどについてやり取りすることができる。

（2）手立て

- ・ 自信をもって表現できるように、単元を通じて繰り返し練習を積み重ねる。
- ・ 相手意識をもってやり取りができるように、クイズ形式で会話をする。
- ・ 子どもたちが関心をもって積極的にコミュニケーションが図れるように、身近な妙高小の先生方をクイズの題材にする。
- ・ 子ども同士の会話が活発になるように、本単元の「Can you ~?」だけでなく、これまでに学習してきた「Are you ~?」「Do you ~?」の表現を紹介し、子どもたちが必要に応じて使えるようにする。
- ・ 本時の Activity での会話が不安にならないよう、授業者と ALT がモデルとなってやり方を提示してから活動を行う。

（3）展開

時	○学習活動	○指導・支援 ◆評価
3	【Greetings】 ○ALT・HRT とあいさつをする。 How are you? / How is the weather? / What date is it today? ○友達とあいさつをする。 How are you? - I' m good.	○ALT を中心に今日の調子や天気、日付などを確認する。 ○HRT は答え方をサポートする。
7	【Warm-up】 ○Are you ~? Do you ~? Can you ~? の表現を練習する。	○以下のコミュニケーションポイントを意識しながら練習させる。 Eye contact, Clear voice, Smile, Reaction, Gesture
12	【Today' s Goal】 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> Goal : Who am I?クイズを通して、妙高小学校の先生をもっとよく知り、友達とやり取りを楽しもう。 </div>	○Who am I?クイズの目的について、このタイミングで児童にきちんと確認させる。

	<p>【Small Talk①】 ○ALT と HRT で妙高小の先生に係る「Who am I?クイズ」を実演し、児童はクイズの流れや必要な表現方法等を確認しながら観る。</p> <p>【Small Talk②】 ○HRT が出す妙高小の先生の「Who am I?クイズ」に答えながら、児童はメインの個別に行うクイズに備える。</p>	<p>○Main Activityにつながる表現を繰り返し用いる。 ○途中、児童を巻き込みながらクイズを進めていき、主体的に聞けるようにする。</p> <p>◆段階的な Small Talk を通して、Who am I?クイズのやり方を知り、積極的に取り組もうという意識をもてたか。</p>
20	<p>【Main Activity】 ○児童は、自由に動いてパートナーを選び、一人の児童の持ち時間は2分間として、「Who am I?クイズ」のやり取りを楽しむ。</p> <p><予想されるやり取り> S1: Hello! Let' s do janken! Three, two, one go! S1: I' m winner. (勝者から出題する) Who am I? Please guess. S2: Are you ~? (2、3個質問する) Do you ~? Can you ~? S1: Yes, /No S2: I don' t know. Hint please. S1: OK. I can ~. S2: Are you~? /Do you ~? /Can you ~? (Answer Time) S1: Can you guess? S2: Are you ~? S1: Yes, I am. That' s right. (交代して出題する) Thank you. See you.</p>	<p>○途中で答えが分かっていても、Answer Time までやり取りを続ける。 ○中間指導では、やり取りを楽しんでいるペアに発表してもらったり、上手く英語で言い表せなかった表現を ALT に確認したりする。 ○時間まで相手を変えながらクイズを出し合う。</p> <p>◆友達とクイズのやり取りを楽しんでいるか。 ◆既習の英語表現を使ってやり取りをしているか。</p>
3	<p>【Feedback】 ○ペアで授業の振り返りを行い、発表する。 ・自分の振り返りや友達のよかったところなどを話す。 ・数名が発表する。</p> <p>【Greeting】 ○終わりのあいさつをする。</p>	<p>○ゴールに沿った振り返りをするよう促す。 ○ALT・HRT が授業の評価を伝える。</p> <p>◆本時を振り返り、友達に自分のできたことや友達のよかったところを伝えているか。</p>